

公共施設マネジメント戦略会議・平成30年度第5回会議 報告

- 日 時：平成30年9月21日（金）13：50～14：05
- 場 所：災害対策本部室
- 資 料：別添のとおり
- 出席者：上地市長（委員長）、永妻副市長（副委員長）、田中副市長（副委員長）
各部局長など委員 計29名
（代理出席：税務部長→市民税課長、土木部長→土木総務課長）
- 内 容：＜議題＞
 - ・FM戦略プランについて

概 要

1 開 会

2 議 題

○議題（1）「FM戦略プランについて」

事務局が内容を説明。説明の概要は以下のとおり。

＜第2回FM戦略プラン検討委員会に向けた対応について＞

（1）FM戦略プラン審査特別委員会への対応について

9月11日に開催されたFM戦略プラン審査特別委員会において、いただいた主な意見については以下のとおり対応することとし、次回、10月12日開催予定の第2回FM戦略プラン検討委員会資料に反映していく。

①個々の計画も個別計画の一部であることを明示すべきという意見について

保育園の再編計画や「市営住宅ストック総合活用計画」など各施設の所管において、策定している個々の計画とFM戦略プランとの関係性について明示すべきとの意見については、第1章に記載のある公共施設等総合管理計画との関連を体系図にて表す部分において、各施設の計画との関連を明示することを考えている。

②施設廃止後の今後の活用に関する明示方法について

施設廃止後の活用について、他の自治体でもそのまま放置している事例があり、それらの活用検討を速やかに行う事なども示していくべきとの意見については、第5章に再編手法を記載する中で、「廃止」についての説明に売却に固執することなく速やかに土地活用を検討する等を追記したいと考えている。

③施設の使われ方のルール等を見直すことについて

施設の使われ方のルール等を見直すことで市民の利便性が向上するような取り組みも進

めることを記載すべきとの意見については、例えば貸室でも卓球などの運動が可能な場合には、そのような使い方も認めるなど、多用途にすることで利用率が向上するということも考えられるため、ソフト面に関する検討も第7章のリーディングプロジェクトの1つとして検討していきたいと考えている。

④地区別の人口構成データの提示について

前回の有識者及び市民による検討委員会において、意見のあった地区別の将来推計人口を世代別に提供すべきという意見については、意見のとおりデータを提供するよう、現在準備を進めている。

(2) FM戦略プラン検討委員からの意見への対応について

市議会特別委員会への報告資料とした9月11日版の骨子案を基に、第2回の検討委員会に向け委員長等と事前ヒアリングを始めており、既に何点か意見をいただいているため、次回検討委員会には、その意見に対応した資料を追加資料として提出することを考えている。

その主な意見と事務局が考えている追加資料の内容については、以下のとおり。

①再興プラン等、まちづくりに関する記述について

第4章のカテゴリー分けについて、前回資料では、9つのカテゴリーを、再興プランの目指すまちづくりの方向性からの3つのカテゴリーに、市民生活に関連する機能から6つのカテゴリーに分け、それぞれ将来像を検討することとしていた。

これに対して、「まちづくりから将来像を考えたものが、再興プランの方向性と一致しているという方がわかりやすい」・「市民にとっては市民生活機能の方が、関心が高い」という意見をいただいたので、9つのカテゴリーを市民生活という視点から並び替えた上で、社会の場、文化・学びの場、スポーツの場については再興プランの方向性に一致しているという表記に変えることを修正案として、資料作成を行う。

②縮減目標について

縮減目標設定の基本的な考え方のまず一つ目として、目標値設定の基礎データは、平成29年3月に策定した公共施設等総合管理計画で示した更新費用推計とすることを考えている。その際の推計では、2052年までに合計約2,918億円の更新費用が必要となり、1年あたりでは平均約85.8億円必要となるという推計結果に対し、現状予算は約59.6億円のため、比較すると約30%足りないという試算になる。

この約30%である累計額892億円を2052年までに縮減することを目標とし、期間については、2052年までをFM戦略プランの計画期間に合わせ、第1期から第3期に分けて設定することを考えている。

次に、各期間の目標値の設定については、次の2つの考え方を組み合わせて設定する考えである。まず一つ目として、人口減少に応じた建替え面積減による縮減であるが、建替え需要が高まる2035年の人口は、本市のピーク人口よりも23%少なくなるという推計となるため、人口減に合わせて建替え面積についても縮減していくという考えである。

また、二つ目としては、それ以外の取組みとして、維持管理費の縮減や、建物の廃止、複

合化、使用料の見直しなど、リーディングプロジェクトの実行により縮減することを考えている。

目標設定上の縮減額、何億円という数値は、あくまで、30年以上先の建設費用も含めた将来更新費用推計のシミュレーションにおける金額のため、実際の建設費等はこの推計値とは、当然異なる金額になってくると考えられることから、どのように目標値を表現するかについては、今後検討委員会にてご意見をいただきながら検討していきたいと考えている。

<質疑等>

なし。

3 閉 会

これで本日の会議を終了する。

以 上